

コロナウィルス感染に関して

コロナウィルス感染症がなかなか下火にならず、都城市内のいくつかの教育・保育施設でも、休園の措置を取らざる得ないところも出てきているようです。休園になった場合、陽性になった方はもちろん数日間の自宅待機、陽性者との濃厚接触者の選定、PCR検査、陰性の場合でも数日の自宅待機など、保健所より指示が出ているようです。これは、すごく時間もかかり大変なようです。

濃厚接触者ではない場合でも、休園になった場合、園で子どもさんを預かることはできず、自宅で保育をしていただくことになり、たくさんの方にご迷惑をおかけすることとなります。報道などでも子どもや学校がお休みになり、大変困っているという話もよく聞きます。私達、園としても毎日、いろんなことに気を使いながら、コロナが出ないように細心の注意をしているところです。しかし、ここまで増えたら、誰がいつ感染し、陽性になってもおかしくない状態です。申し訳ありませんが、もう少しの間、感染予防にご協力をお願いします。

もし、陽性や濃厚接触者になった場合は、直ぐに園の方に連絡をください。園の方では市の保育課の方に連絡をすることになっています。

県外に行かれた場合も連絡をください。その際はできればPCR検査を受けて、陰性が証明された後、子どもさんを預かります。また、家族内で体調を崩された方がいる場合には、念のため、子どもさんはお休みさせていただきます。

今週末、3連休になる方もいらっしゃると思いますが、感染には十分お気を付けください。職員も2月3月3回目のワクチン接種を行う予定です。

進級・進学に向けて

ばななさんと面談室で食事をとっています。箸の握り方、食器の持ち方、姿勢、食事のマナーについて再確認をして、合格がもらえた子どもは、箸への移行をします。今年も全員合格して、無事箸への移行ができました。

未満児から「3点持ち」を意識させ、クレヨンの持ち方、細かい玩具の持ち方、スプーンの握り方など意識をさせてきました。これをする事で、箸や鉛筆をきれいに握れるようになります。

家では箸を使っている子どもも多いのですが、なかなか難しいようで力が入りすぎ、2本の箸がうまく使えない子もいるようです。しかし、本人たちは意識しながら、きれいな持ち方をしようと頑張っています。「お父さんに教えてもらった！」とか「お母さんのを見て覚えた！」と言う子もいました。大人がモデルですね。

箸や鉛筆の握り方を教えるって難しくありませんか？与えたその日から、スムーズに持てる子もいますが、何回教えても「ちょっとちがうなあ」といった子もいますし、教えているうちにこちらの方が「どうだったっけ？」ってなったりしますよね。どうしても握れない時には「洗濯ばさみ」を使って練習してみましょう。



このように鉛筆やスプーンに洗濯ばさみを付けます。

洗濯ばさみの間に人差し指を入れて握る。



スプーンにも洗濯ばさみを付けることで、指が安定して握りやすくなります。

ばなな組になると正しい姿勢、食事のマナーも身につきます。

